

歌壇

大下一真選

特選

鼻先に桜の花びらつけしままゆっくり歩む老犬コロソ

水道 菅井 茂子

杖ついて下ばかり見て歩む道ビ一玉見つけてけとばしてみる

千駄木 石井 禮子

なつとうとうふあさりにしじみ懐かしや

絶えて久しき朝の物売り

千石 菊地 正矩

入選

防犯灯前をよぎればぱつと点き

我に問い掛く今朝も元氣か

千駄木 上杉 紀世子

不器用で格好悪くて冴えなくてそんな個性が私の売りだ

音羽 黒坂 進

麦わらと半そでたんパンいざ出発コザ十字路にふりつづく雨

湯島 大坪 千隼

早春の空に漂う雲一片吾の一生も斯くの如きか

大塚 小出 風沙子

ももいろの蝶かと思う山茶花のひとつ残れり語るごとくに

本駒込 唐木 よし子

播磨坂植物園に六義園花を愛でては心を洗う

白山 長濱 晴子

八十迎え身近に短歌あるお陰心静かに夕日に感謝

白山 長濱 直

令和5年度 第1回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

松澤 雅世 選

特選

水温む水には水の白ひして

千駄木 仲 綾子

枯れぬこと知らぬを惜しむ水中花

千駄木 江川 盾雄

人影の淡く滲むや花の夜

千 石 菊地 正矩

入選

春を行くペダルの重き消えにけり

小日向 岸 一樹

水源みなもとの美はしき一滴卒業式

小日向 内野 仙也

五月闇戦はてなくはてしなく

音 羽 黒坂 進

天そらの地の新緑もゆる水鏡

小石川 桐原 大司

方丈の宇宙の主や蝸牛

本 郷 町田 菊男

春雷の去りて覗かす茶屋のぼり

湯 島 佐々木 昌子

耳鳴りの消ゆ一本の大ざくら

向 丘 丸岡 正兎